

藍住町 議会だより

第109号

2022(令和4)年5月25日

藍住町議会
ホームページ

(アドレス)

<https://www.town.aizumi.jp/gikai/>



3月定例会	
常任委員会主な質疑 P.4～5
令和4年度一般会計・特別会計当初予算 P.6
一般質問 ～町政のここが聞きたい～ P.9～12
わたしの一言 P.14

はばだけ！ 未来へ！ 子どもたち



3月定例会

3月議会定例会が3月7日から24日までの18日間の会期で開会され、次の議案について審議しました。

高橋町長は令和4年度の所信表明を行いました。詳細については、広報あいずみ4月号に掲載しています。

一般質問では4人の議員が登壇し、町政について質問しました。

～町長提案～

令和3年度藍住町一般会計補正予算の専決処分の報告と承認	可	決
令和3年度藍住町一般会計補正予算	可	決
令和3年度藍住町特別会計(国民健康保険事業)補正予算	可	決
令和3年度藍住町特別会計(介護保険事業)補正予算	可	決
令和3年度藍住町特別会計(介護サービス事業)補正予算	可	決
令和3年度藍住町特別会計(後期高齢者医療事業)補正予算	可	決
令和4年度藍住町一般会計予算	可	決
令和4年度藍住町特別会計(国民健康保険事業)予算	可	決
令和4年度藍住町特別会計(介護保険事業)予算	可	決
令和4年度藍住町特別会計(介護サービス事業)予算	可	決
令和4年度藍住町特別会計(後期高齢者医療事業)予算	可	決
令和4年度藍住町下水道事業会計予算	可	決
令和4年度藍住町水道事業会計予算	可	決
行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部改正	可	決
藍住町の職員の育児休業等に関する条例の一部改正	可	決
藍住町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正 国家公務員の特別職の期末手当の改定に伴い、議会議員の期末手当の支給月数を引き下げるための改正	可	決
常勤特別職の給与に関する条例の一部改正	可	決
職員の給与に関する条例の一部改正	可	決
藍住町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正	可	決
藍住町国民健康保険税条例の一部改正 賦課方式のうち、資産割を令和6年度の廃止に向けて段階的に縮小するための改正	可	決
藍住町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	可	決
藍住町歴史館「藍の館」設置及び管理に関する条例の全部改正	可	決
あいずみ藍工房の設置及び管理に関する条例の全部改正	可	決
藍住町債権管理条例の制定	可	決
東中富交流館の設置及び管理に関する条例の制定	可	決
町道の路線認定	可	決
町道の路線廃止	可	決
指定管理者の指定(児童館・藍住町勤労女性センター・藍翠苑) 指定管理者 社会福祉法人 藍住町社会福祉協議会	可	決
指定管理者の指定(藍の館・あいずみ藍工房) 指定管理者 一般社団法人 しじゅうはちがん	可	決

～議員提案～

● 常任委員会委員の選任	可	決
● 議会運営委員会委員の選任	可	決
● 藍住町防災対策特別委員会委員の辞任	可	決
● 藍住町防災対策特別委員会委員の選任	森	伸二
● 藍住町議会だより編集委員会委員の辞任	可	決
● 藍住町議会だより編集委員会委員の辞任	可	決
● 藍住町議会だより編集委員会委員の選任	永浜浩幸、	宮本影子
● 板野東部消防組合議会議員の選挙	近藤祐司、	小川幸英
● ロシアによるウクライナ侵攻に断固抗議する決議	可	決
● 議員派遣の件	可	決
● 国立病院の機能強化を求める意見書	可	決

～報告～

● 令和4年度藍住町土地開発公社の事業計画



委員会の構成

任期満了及び委員の辞任に伴い、一部の委員会や組合議会議員の改選が行われました。改選後の委員会構成は次のとおりです。

<p>議会運営委員会</p> <p>委員長 奥村 晴明 副委員長 紙永 芳夫 委員 前田 晃良 委員 竹内 君彦 委員 米本 義博 委員 森 伸二</p>			<p>常任委員会</p> <p>総務文教常任委員会 委員長 森 伸二 副委員長 永浜 浩幸 委員 竹内 君彦 委員 紙永 芳夫 委員 小川 幸英 委員 奥村 晴明</p>			<p>建設産業常任委員会</p> <p>委員長 米本 義博 副委員長 近藤 祐司 委員 佐野 慶一 委員 森 志郎 委員 平石 賢治</p>			<p>藍住町議会だより編集委員会</p> <p>委員長 紙永 芳夫 副委員長 永浜 浩幸 委員 前田 晃良 委員 竹内 君彦 委員 宮本 影子</p>			<p>特別委員会</p> <p>藍住町防災対策特別委員会 委員長 前田 晃良 副委員長 近藤 祐司 委員 竹内 君彦 委員 米本 義博 委員 永浜 浩幸 委員 森 伸二 委員 鳥海 典昭 委員 小川 幸英 委員 林 茂</p>			<p>板野東部消防組合議会議員</p> <p>近藤 祐司 小川 幸英</p>		
---	--	--	---	--	--	--	--	--	---	--	--	---	--	--	--	--	--

定例会案内

本会議を傍聴しませんか

次の定例会は6月です。
定例会日程や議会だよりについてはホームページに掲載しています。

次号は8月に発行します。
詳しくは議会事務局まで
お問い合わせ ● 議会事務局 ☎(088)637-3127

編集委員会では、町民の声の投稿を募集しています。
議会や町政・議会だよりに関する御意見をお寄せください。

投稿規定

- ① 住所・氏名・電話番号を明記。
- ② 掲載時に匿名を希望する方は申し出てください。
- ③ 字数は500字以内。
- ④ 投稿者の多い場合には、掲載月を調整する場合があります。

※郵送またはメールによる投稿をお待ちしています。
議会事務局 E-mail:gikai@aizumi.i-tokushima.jp

常任委員会 主な質疑

3月定例会の議案については、その審査を各常任委員会に付託しました。各委員会において審査した結果、それぞれ全会一致で可決され、最終日に各委員長から審査結果の報告がありました。

主な質疑・意見については次のとおりです。

厚生常任委員会

委員長 前田 晃良

令和4年度
一般会計当初予算

〔救急医療対策補助金〕

問 630万円が計上されているが、どのようなものか。また、新しい制度か。

答 鳴門地域と藍住地域の主な4病院が行う救急搬送に対する補助金であり、以前からある制度である。

問 令和4年度国民健康保険事業当初予算

〔一般被保険者療養給付費〕

問 対前年度で1億2400万円増えているが、医療費の伸びが多かったのか。また、どのくらいの伸び率か。

答 医療費の伸び率は約9%となっており、かなり伸びている。

令和4年度介護保険事業当初予算

〔県補助金〕

問 前年度と比較して約4千万円減っている。全体的に支出は増えているのに県補助金が減っているのはなぜか。

答 県補助金の中に地域医療介護総合確保基金がある。介護保険の事業所を新たに作ったときの事業所に対する補助金で、一般会計に組替えをしたため、今回減額となっている。

国民健康保険税条例

〔未就学児に係る均等割額の軽減〕

問 就学前までとされている年齢制限を上げるとい考えはないのか。

答 未就学児の半額負担に関しては、制度の根幹に関わる問題であるため、現時点で考えることは難しい。

建設産業常任委員会

委員長 米本 義博

令和4年度
一般会計当初予算

〔地籍調査事業〕

問 地籍調査の進捗率が他の自治体と比較して低い原因は、

答 進捗率の県内平均、約40%に対して本町は約15%。進捗率が低い理由としては、他の市町より事業の開始が遅かったことが主な要因ではないかと思っている。

問 今後、事業をどのように進めていくのか。

答 地籍調査完了後は、万一の災害時に備えて、復旧の迅速化に寄与することが期待されている。このため、今後は調査の取組を強化し、事前復興対策として推進していく必要があると考えている。また、県の補助金についても事業面積

を倍増して進めるための事業費を確保しており、職員も1名増員し、進捗率向上のため、ペースを上げて進めていく。

県道檜藍住線の歩道改良

問 光洋シーリングテクノから藍住町役場までの歩道は通学路であり、交通

量が多く危険である。用地交渉も含め、早急に整備してもらえないか。

答 県からは、現時点では用地の確保はできていないと報告を受けている。本町としても、この路線は大変重要な路線であると考えており、今後、県に対して事業の推進を積極的に働き掛けていきたい。

指定管理者の指定

問 指定管理者、一般社団法人のしじゅうはちがんとはどのような意味なのか。

答 藍染の色が48種類あるということと、浄土宗の四十八願という言葉から命名したと聞いている。



現場視察を行う建設産業常任委員

総務文教常任委員会

委員長 森 伸二

令和3年度 一般会計補正予算

〔非課税世帯等に対する
臨時特別給付事業〕

問 対象者と申請者は何人か。

答 対象世帯は約3900世帯で、2356世帯に給付済み。

〔学校等における
感染症対策等支援事業〕

問 どのような事業なのか。

答 学校の感染症対策に使用できる国の補助金があり、持ち帰りパソコンに使う充電ケーブル等の購入を考えている。

令和4年度 一般会計当初予算

〔固定資産税〕

問 歳入が前年度と比較して2650

万円減額予定とのことだが、原因は。

答 固定資産税の課税客体には土地と家屋と償却資産がある。土地の税金については、コロナ対策の特例措置で率を据え置いたことなどにより、減収になる。家屋の税金についても、評価額の見直しなどにより減収となる。何より大きいのが償却資産で、設備投資が控えられている状況で、毎年の償却率の減少分があるため、合計で2650万円という金額になる。

〔災害用備蓄品整備事業〕

問 内訳とコロナ関係の備蓄品は何か。

か。

答 今年度予定しているのは、オストメイトトイレ、パルスフィット等。コロナ関係では、マスクや間仕切りを備蓄している。

〔非常用持ち出し袋
購入支援事業〕

問 どのような事業なのか。

答 年間600個を販売しており、本年度は938人から応募があった。来年度も600個を販売予定。

〔防災士資格〕

問 町職員の防災士資格取得について計画はあるのか。

答 講習会を本町単独で開催することとは難しい。県内や板野郡内で共同開催をしてもらえるよう要望すること考えている。

〔学校教育
ICT環境整備事業〕

問 現状と、機械トラブルは起きていないのか。

答 タブレット端末の活用が始まっており、ICT支援員の派遣や、研修も進めている。

また、本町は国内メーカーの端末を使用しているため、今のところ機械トラブルの心配はない。

〔コロナ禍における
行事への対応〕

問 運動会を南幼稚園のみ保護者を入れずに行った理由と、今後の卒業式・入学式への対応は。

答 運動会直前に南小学校が休校となったため、運動場が狭く、園児数が多い南幼稚園は、保護者の観覧は行わないという措置をとった。

また、卒業式・入学式は、来賓を呼ばない、

在校生を全員入れない、保護者と教員とで行うという方針に行っている。

〔藍住町
総合文化ホール〕

問 現在の運用状況は。

答 町主催事業及び共催事業は定員の50%に制限する等の制限を設けている。

〔定員100%
での開催を藍住町はどのように考えているか。〕

答 ガイドライン上には制限はないが、もうしばらくは自主規制をしたほうが良いと考えている。

〔学校給食における
食品ロス〕

問 SDGsを学ぶ取組が全国の学校でされているが、本町の現状は。

か。

答 給食委員が制作した給食を作る過程の動画を視聴することで、感謝の気持ちとともに食の大切さを感じるなど、食への興味を持ってもらう教育を考えている。

〔コロナ禍における
学校給食〕

問 南小学校が休校になったとき、南幼稚園の給食が簡易パンとゼリーと牛乳だけだった。このことについてアンケートを行うとのことだったが結果はどうか。

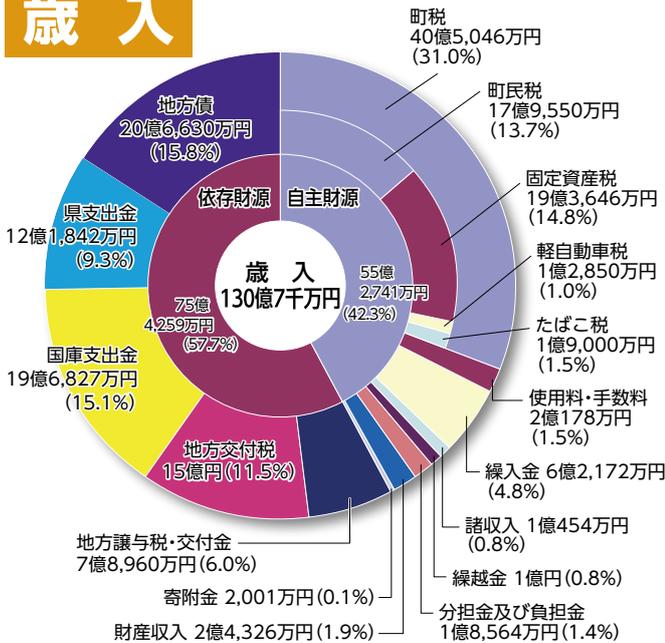
答 約7割は緊急事態のため仕方ないという回答だったが、約3割はどうにかできないかとの回答だった。今後は業者や給食施設の協力を得ながら災害用レトルトカレーなども視野に入れ考えていく。

令和4年度一般会計当初予算

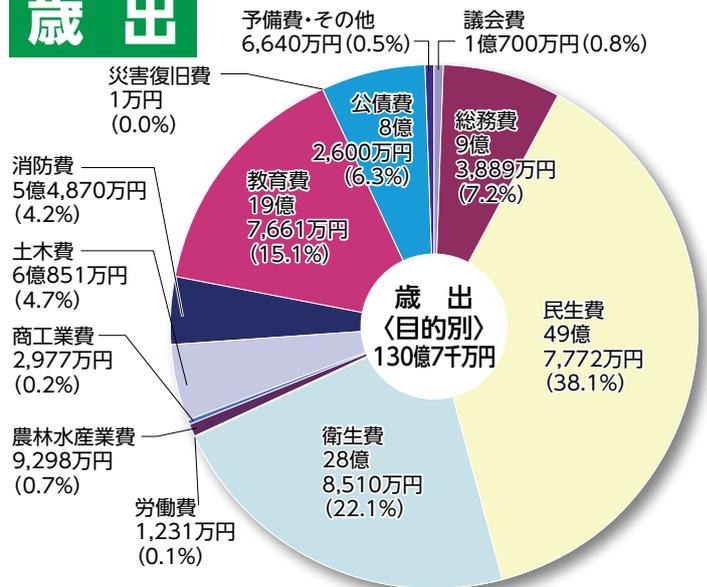
一般会計130億7,000万円を可決

前年度当初予算対比16.1%増

歳入



歳出



※予算等に関する主な質疑についてはP4~5をご覧ください。

令和4年度 当初予算

会計名	予算額	前年度当初予算対比
一般会計	130億7,000万円	16.10%
特別会計	国民健康保険事業	35億6,534万円 3.34%
	介護保険事業	29億3,614万円 3.25%
	介護サービス事業	1,040万円 15.56%
	後期高齢者医療事業	4億2,200万円 8.76%

一般会計の主な事業・新事業

(1万円未満切捨て)

- 高齢者移動支援事業 1,918万円
(1万円分のタクシー券を5,000円で販売する藍住町ノリ乗りタクシー券事業費用)
- 放課後児童クラブ事業費 1億4,428万円
(内、昼食斡旋事業に300万円)
- 新型コロナウイルスワクチン接種事業 7,476万円
- 一般廃棄物焼却施設大規模改修事業 15億5,120万円
- 災害物資集配送拠点施設整備事業 100万円
- 藍資料館整備事業 6,250万円

会計名		収入総額	支出総額	差引額
下水道事業	収益的収支	3億7,582万円	2億9,859万円	7,723万円
	資本的収支	2億2,754万円	3億1,750万円	△8,996万円
水道事業	収益的収支	5億3,726万円	5億2,032万円	1,694万円
	資本的収支	502万円	4億1,756万円	△4億1,254万円

中学校のトイレ改修工事に 1億9,766万円

令和3年度 一般会計補正予算

歳入歳出
それぞれ

6億6,500万円増額

予算
総額

136億700万円

～主な補正の内容(1万円未満切捨て)～

■ 民生費

◆保育所施設型給付費…………… △9,069万円

■ 教育費

◆藍住・藍住東中学校トイレ改修工事…………… 1億9,766万円

■ 諸支出金

◆財政調整基金積立金…………… 6億1,000万円

令和3年度 特別会計補正予算

会計名	補正額	補正後の額
国民健康保険事業	2,052万円	35億3,200万円
介護保険事業	△896万円	28億3,680万円
介護サービス事業	140万円	1,040万円
後期高齢者医療事業	1,550万円	4億350万円



改修工事の説明を受ける議員

中央クリーンステーション
大規模改修工事のしゅん工により、3月24日、定例会終了後に現場を視察しました。
これまでは、搬入されたし尿は処理した後に正法寺川へ放流していましたが、し尿・浄化槽汚泥を前処理+希釈して公共下水道へ放流する「希釈放流方式」へ変更する施設の改修工事が行われた説明を受け、全議員で施設を見学しました。



ロシアによるウクライナ侵攻に断固抗議する決議を可決

提出者 森 伸二

賛成者 前田 晃良、竹内 君彦、米本 義博、永浜 浩幸、宮本 影子、近藤 祐司、紙永 芳夫
鳥海 典昭、小川 幸英、林 茂、奥村 晴明、佐野 慶一、森 志郎、平石 賢治

(全文)

去る2月24日に始まったロシアによるウクライナへの侵略行為は、世界平和を脅かし、国際社会の秩序の根幹を揺るがす極めて深刻な事態であり、断じて容認できない。

よって、本議会は、ロシア軍による攻撃やウクライナの主権侵害に抗議するとともに、即時攻撃停止と完全かつ無条件での撤退を強く求める。

また、政府においては、国際社会と緊密に連携し、邦人の安全確保や我が国に及ぼす影響への対応、そして、一日も早い平和的解決に向け全力を尽くすことを強く要請する。

以上、決議する。

令和4年3月15日 徳島県板野郡藍住町議会

請 願 ・ 意 見 書

● 国立病院の機能強化を求める請願書……………採 択

請 願 者 全日本国立医療労働組合徳島地区協議会 議長 工藤 純子

紹介議員 紙永 芳夫

提 出 先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣、
国立病院機構理事長、徳島県知事

「国立病院の機能強化を求める意見書」を提出

(概要) 戦後最悪といえる新型コロナウイルス感染症(以下、「新型コロナ」と表記)の感染拡大によって、感染症対策のみならず日本の医療体制の脆弱さが浮き彫りとなりました。まさに「医療崩壊」の危機に直面する事態となりました。

国民のいのちと健康を守るのは国の責任です。そのためにも、国立高度専門医療研究センター及び国立病院機構病院の診療・研究にかかわる必要な経費に国費を投入し、新興感染症対策など採算の取れないセーフティーネット系医療において中心的役割を果たすよう機能強化することが、地域医療を守り、充実させることにつながります。

また、必要な人員、医療機器、物品が欠乏し、国民の命が救えないなどという状況はあってはならないことであり、国が責任を持って対策に取り組むことが必要です。

国立病院の機能を強化し、憲法25条に保障された国民の生存権及び国の社会的使命を果たすよう以下の事項を強く要望します。

記

- 1 新型コロナ等の感染症や大規模災害から国民のいのちを守るため、国立病院を機能強化すること。
 - ①大規模災害拠点病院である徳島病院の病床集約計画に対して、地域医療確保を損なう病床削減は慎重に検討すること。
 - ②新型コロナ感染症患者を受入れている東徳島医療センターにおいて、現在の病床数を確保し、徳島県民の万全な医療が提供できるよう国立病院の機能強化を図ること。
- 2 国立病院の機能強化を図るために、医師、看護師をはじめ全ての職員を確保すること。
- 3 国立病院の機能強化に必要な財源は、国の責任で確保すること。
- 4 徳島病院の専門分野(筋ジストロフィー・神経難病など)の機能充実・強化を図ること。
- 5 各分野の専門家が必ず発生すると指摘している新興・再興感染症の拡大や大規模災害から徳島県民の命と暮らしを守るために、国立病院をはじめとする公立公的病院の機能充実・強化を図ること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

● 藍住町議会請願書「西川良夫・藍住町議会議長(公明党)によるハラセメント行為への対応」……………不採択

請 願 者 喜田 康稔

紹介議員 林 茂

米本義博議員が反対討論を行い、賛成少数で不採択となりました。



まえだ あきら 議員
前田 晃良

人口減少対策への取組 第2期藍住町総合戦略を策定し、 積極的に施策を推進している

問 地方創生に取り組む基礎資料として、令和2年3月に人口ビジョンを策定しているが、人口の現状と将来展望について、どのような状況にあるのか。

答 本町の人口は増加を続けてきたが、令和12年をピークに減少に転じ、令和27年には、3万4千人を下回ることが見込まれている。

問 若い世代の移住・定住を促進するための、スポーツパーク・バーベキューパークの整備が掲げられているが、今後どのように整備を進めようとしているのか。

答 スポーツパークは屋外競技ができる施設を、バーベキューパークは、災害時にも活用できるように検討している。

来年度には適地の選定を行うとともに、プロジェクトチームを結成し検討していく。

放課後児童クラブでの 昼食支援

秋以降から本格的に導入予定

問 共働き世帯の負担軽減を図るため、放課後児童クラブにおける昼食支援をどのように進めるのか。

答 希望する児童にお弁当を給食費並の価格で提供することを想定している。

4月に民間調理業者を募集・選定し、7月頃には試験的にお弁当を斡旋し、秋以降から本格的に導入する。



放課後児童クラブが行われている児童館

新型コロナウイルス ワクチン接種について

接種を希望する方への速やかな 接種に取り組んでいく

問 3回目のワクチン接種をすることで、発症予防や入院予防の効果が高まると言われている。県内でも比較的早い時期に接種を開始した本町だが、どの程度ワクチン接種が進んでいるのか。

答 3月13日時点で、18歳以上の接種対象者の約42%へ接種済み。

問 全国的にファイザー社製のワクチンを選ぶ方が多いようだが、ファイザー社製のワクチンの確保はもとより、モデルナ社製のワクチン接種を進める必要があるとされている。町としてどのように取り組んでいるのか。

答 ファイザー社製のワクチンについては、本町独自で1瓶から7人分のワクチンが採取できる注射器を購入している。これにより、国の配分数字よりも約2割多くの方に接種できる。

また、モデルナ社製のワクチンについては、個別接種に加え町で実施する集団接種などで活用している。

問 5歳から11歳の子供のワクチン接種については、接種への努力義務は課せられておらず、保護者の判断となる。町としては、どのように対応しているのか。

答 学校や教育委員会と連携してワクチン接種をしないことで差別や偏見があってはならないことを児童生徒に指導してきた。今回の接種についても広く住民の皆様にも周知することとしている。



おがわ ゆきひで 議員
小川 幸英

新型コロナウイルス感染症対策について

関係機関と連携し支援が活用されるよう対応していく

問 オミクロン株による県内での感染者は200人を超えている。児童施設や学校でクラスターが起き3回目の接種が急がれるが、本町の65歳以上の接種状況と取組は。

答 接種人数は7119人。本町では、3回目の接種を一律6か月後に前倒しをしている。

問 5歳から11歳のワクチン接種状況は。

答 260人が予約をし、31人が接種済み。

問 ウイズコロナを想定した町民生活、社会経済活動への対応は検討しているか。

答 個人や企業の感染防止対策を図る行動が、ウイズコロナにおける日常へつながっていくと考えている。

その他の質問

○福祉灯油助成について

問 コロナ感染症に伴う生活困窮世帯への支援事業や実施事業は。

答 国や県による様々な施策が講じられており、子育て世帯や住民税非課税世帯への臨時特別給付金事業も始まっている。

問 コロナ禍で経営が圧迫されている町内業者への支援事業は。

答 今年度は、あいずみ商品券事業を実施し、約1億8千万円の消費需要を創出した。

学校における新型コロナウイルス対策

基本的な感染予防対策に加え、換気や消毒等の徹底を心掛けている

問 幼・小・中学校でのコロナ感染状況は。

答 幼稚園が15名、小学校が44名、中学校が27名。

問 先生や子供たちが感染した場合、濃厚接触者の特定やPCR検査の方法などは。

答 保健所の調査によって濃厚接触者が特定され、保健所の指示に従い、PCR検査等を受けることになる。

問 オミクロン株による低年齢層へのコロナ感染者が増加している。幼・小・中学校におけるコロナ感染防止対策は。

答 定期的な換気の実施や消毒、マスク着用の徹底。体調が悪い場合は学校を休むよう呼び掛けをしている。

高齢者対策について

引き続き地域公共交通の在り方を検討していく

問 過去5年間の免許証返納者数は。

答 平成29年が97人、平成30年が94人、令和元年が106人、令和2年が90人、令和3年が96人。

問 免許証返納者や高齢者に対する取組を2年間で検討することであったが、どのように検討したか。

答 一昨年度から検討を行い、今年度はタクシーチケット実証事業を実施した。

問 本町でも県が行っているような交通プレミアム商品券事業を行ってはどうか。

答 プレミアムの付いた「ノリ乗りタクシー券」を実施。

問 高齢者の外出支援策について、コミュニティバスを検討することであったがどうなったか。

答 需要面や財政面で多くの課題があるため、本町に必要な地域公共交通サービスについて検討する。

問 介護タクシーの現状と取組は。

答 介護保険を使って介護タクシーを利用するためには、要介護1以上の介護認定を受けた方が通院等の乗降介助が必要な場合に限り利用が認められている。

なお、1月あたりの利用者は延べ80名程度。





はやし 茂 議員

**新型コロナウイルスで厳しい事業者支援を
関係機関と連携し、各種支援が
活用されるよう対応していく**

問 建設資材の価格は高騰、原油の高騰で製品が値上がりし事業も暮らしも成り立たないという声、個人の努力だけでは不十分。

①北島町や石井町のように、支援給付金を創設すること。

②不況対策は2020年、国の交付金を活用して住宅リフォーム補助事業を行い経済効果も大きいと町も認めている。町は、住宅リフォーム助成制度を創設すること。

③町発注の随意契約は税金が原資であり、一部の業者に偏ることなく多くの業者に優先発注すること。

答 ①本町としては、あいつみ商品券事業を実施し、消費需要を創出した。

また、県においても徳島県事業持続化応援金を新設しており、町としても、まずは積極的な周知に努

めている。
②恒久的なリフォーム助成事業の創設は考えていない。
③指名願いが提出されている業者の中から実績や地域性を考慮し、複数業者から見積りを取って業者を決定している。

**放課後児童クラブについて
令和4年2月から児童支援員等の
賃金改善を実施**

問 コロナ禍以前に、勝瑞児童館のクリスマス会に招かれたが、先生方のキビキビした指導力に感心した。児童たちが児童クラブで大きく成長しているのを実感した。

①児童館の児童数と職員数は。

②利用料の減免基準と減額申請件数は。

③保育士の賃金9千円引上げの状況は。

答 ①利用児童は501人で、職員は36人。
②利用料軽減申請者は104名、うち利用料軽減人数は90名。軽減申請の要件としては、第3子以降の児童が入会している、生活保護世帯が入会している、その他もろもろの軽減条件を満たすこととなっている。

③児童支援員等の処遇改善は、保育所の保育士、幼稚園の保育士、会計年度任用職員とのバランスを考えて実施しており、9千円とはなっていない。

その他の問

○ロシアによるウクライナ侵略に関する町長のメッセージを要請

**就学援助制度の周知徹底を
申請者数と認定件数は、ほぼ横ばい**

問 内閣府の全国調査では、コロナの影響によってクラスで5人の子供が貧困状態となっている。

①就学援助制度の申請者数と認定件数は。
②給食費の滞納者数と金額は。給食費の滞納の原因と就学援助制度を周知徹底すること。給食費はせめて半額にしてほしい。

答 ①別表①のとおり。
②別表②のとおり。

別表① 過去5年間の就学援助申請者数と認定者数

年度	小学校		中学校	
	申請者	認定者	申請者	認定者
H29	284人	268人	176人	163人
H30	274人	252人	182人	174人
H31	267人	245人	180人	159人
R 2	235人	227人	165人	161人
R 3	268人	243人	142人	130人

別表② 過去5年間の学校給食費の滞納者数と滞納額(現年度分)

年度	幼稚園		小学校		中学校	
	人数	滞納額	人数	滞納額	人数	滞納額
H28	4人	67,280円	20人	440,265円	15人	352,170円
H29	4人	85,505円	24人	1,006,743円	19人	578,880円
H30	5人	128,836円	13人	663,667円	16人	510,719円
R 1	3人	92,180円	28人	640,579円	21人	407,080円
R 2	3人	52,051円	35人	1,059,519円	22人	428,547円



ながはま ひろゆき
永浜 浩幸 議員

GIGAスクール構想

について

子供たちは想像以上に端末の使用に順応し、スムーズに活用が広がっている

問 藍住町の小学校・中学校では、子供1人1台端末の配備が完了し、活用が始まっている。

子供たちがタブレットを使って楽しく授業に参加し、知識を伸ばしていければと思うが、子供たちの学習に対する取組や意識の変化はどうか。

答 タブレットの活用は、子供たちに意欲や集中力の高まりをもたらしている。しかし、学習

内容の定着状況は確認する必要があるとの指摘もあり、使用の初期段階の物珍しさに頼らない効果的な使い方について今後研究が進んでいくものと思われる。

一方で、紙の教科書やノートが不可欠な学習内容



タブレットを使って授業を受ける児童

についても、確認しながら学習方法の改善に取り組みよう指導していきたい。

問 今後、GIGAスクール構想を進めていく上での課題点について。先生方には、新たな取組に対しての労力があると思うが、教育委員会からの支援はあるのか。

答 町からは2名のICT支援員を派遣しており、ハード面のサポートを中心に授業での活

用の支援も行っている。

藍住町歴史館「藍の館」について

令和4年10月頃の

リニューアルオープンを目指す

問 リニューアルオープンに向けての進捗状況について伺う。

答 休館中に老朽化した設備の点検・修理を行った。新たな指定管理者を選定して体制の見直しを行っている。

令和4年度の取組としては、施設の魅力向上への取組として、エントランスや染め場、中庭の改修及びバリアフリー化を行う予定。

また、日本遺産「藍のふるさと阿波」日本中を染め上げた至高の青を訪ねてのセンター機能を果たすことができる施設にするため、抜本的な見直しを図ることとしている。

問 藍の館の広報について、藍住町として今後、どのように「藍」を発信していくのか。

答 今後は、指定管理者の「一般社団法人しじゅうはちがん」が中心となって広報活動を進めていくが、町も共に協力して広報活動を行ってきたいと考えている。

また、これまで協力を得てきた徳島県などに加え、藍のふるさと阿波魅力発信協議会の一員として、日本遺産の情報発信ツールも利用しながら広く広報活動を行っていく。

議員研修報告

「市町村議会議員特別セミナー」に参加して

議会議員 前田 晃良

4月11日から4月12日までの2日間、滋賀県大津市の全国市町村国際文化研修所で市町村議会議員研修「第一

回市町村議会議員特別セミナー」が開催されました。本来は同研修所で受講するところでしたが、新型コロナウイルスを回避するため、私はオンラインでの受講となりました。

1日目は、杉本達治福井県知事より「地方行政と政策デザイン」、中央大学文学部社会学専攻 山田昌弘教授より「少子化問題の日本

の講義が行われました。この中で私が最も興味を持った講義は「地方行政と政策デザイン」です。

まず、ジョン・ボイド氏の理論「OODA」(ウーダ)グループという徹底的現場主義による「課題発見」→「実行」→「改善」をできるだけ早くまわすことに

より課題解決に向けて取り組むという考え方は、藍住町議会においても実践できる考え方だと思いました。

次に、政策ディスカッションや意見交換を行って当初予算に反映し、さらに、市町村議員と住民目線での要望等について直接意見交換し、現場の課題を共有する「チームふくい」です。予算案の編成など、議員ではできないこともありますが、この方法を活用した住民との意見交換など

この研修は、地方行政・地域活性化・福祉など、近年課題となっているテーマに関

して、今後の地方行政の在り方や議員に求められる役割について考えることを目的に行われました。

2日目は、京都市立学大学院 地球環境学 堂 浅利美鈴准教授より「行動するSDGs」

「ごみ」からのアプローチ

「エコー」という行動「ごみ」が

SDGsの



市町村議会議員特別セミナー資料

～地域の魅力について～

私は「勝瑞城みらいへつなげ隊」という団体を作り、地域の仲間と活動をしています。主な活動内容として、勝瑞館跡で開催している「あいずみスマイリーマルシェ」の運営、勝瑞城周辺の清掃活動、勝瑞城のPR活動です。

マルシェの運営に当たっては、日亜化学工業や、藍住東小学校から駐車場をお借りします。そして、地域にお住まいの方には、ボランティアとして運営を支えてもらっています。

勝瑞城の清掃活動も、地元の方や、団体のメンバーで行っており、4月10日放送の、池の水ぜんぶ抜く大作戦に勝瑞城が決定した際には、収録日に大勢の高校生が助っ人で参加してくれました。

そして、勝瑞城のPR活動としては、登城記念となる、御城印を作製しています。こちらも全て藍住町の方が関わり、阿波和紙を藍の染色家に染めてもらい、1枚1枚全て書家による手書きで、朱印にもこだわりました。このように、私たちの活動は全て地域の方に支えられ、成り立っています。町内に雄大な自然はあまり残っていませんが、藍住町の魅力の一つは地域のきずなであると思います。



勝瑞城の御城印

議会のうごき

2月

3日 議会だより編集委員会

9日 ▼108号の校正について
徳島県後期高齢者医療広域連合議会全員協議会・定例会 (徳島市)

18日 板野郡町議会議長会定例会 (松茂町)

28日 議会運営委員会
▼第1回定例会日程等

3月

1日 徳島県町村議会議長会定期総会 (徳島市)

7日 議会全員協議会
3月議会定例会開会

8日 厚生常任委員会 p2
建設産業常任委員会 p3

9日 総務文教常任委員会

10日 議会運営委員会

15日 ▼ロシアによるウクライナ侵攻に断固抗議する決議の提出について

24日 議会全員協議会

3月議会定例会一般質問 p9
3月議会定例会閉会 p12
議会全員協議会

▼中央クリーンステーション大規模改修工事の現場視察について

25日 ▼議会先例・申合せの一部改正について

板野東部消防組合議会定例会 (北島町)

4月

6日 議会だより編集委員会
▼109号の作成について

11日 市町村議会議員特別セミナー

22日 板野郡町議会議長会定例会
・功労者表彰式 (松茂町) p13

25日 議会だより編集委員会

27日 109号の校正について

28日 市町村議会議員研修 (滋賀県)



編集後記

御入園・御入学された皆様、おめでとうございませう。初々しい新入生の皆さんも、新しい環境にそろそろ慣れてきた頃ではないでしょうか。

藍住町議会も3月議会より委員会構成を変更し、心新たに議員活動に取り組んでいます。議会だより編集委員会のメンバーも新しくなるとともに、今号より議会だよりの紙面が全ページカラーになりました。今後も町民の皆様に分かりやすく、読みやすい議会だよりを目指し、町民の皆様へ寄り添った議会になれるようにこれからも頑張っていきます。

(竹内 君彦)

議会だより編集委員会

- 委員長 紙 永 芳 夫
- 副委員長 永 浜 浩 幸
- 委員 前 田 晃 良
- 委員 竹 内 君 彦
- 委員 宮 本 影 子